



第36回トラック協会杯 全道U-11サッカー大会

優勝 北海道コンサドーレ札幌 U-12
準優勝 KEクラブフィールズU-12
第3位 札幌ジュニアFC
北海道コンサドーレ室蘭 U-12



9月14日(土) 15日(日) 16日(月)の3日間にわたり、SSAPと東雁来公園東・西グラウンドにて、トラック協会杯の全道大会が行われました。

全道各地から集まった24チームの中が4チームずつの6ブロックに分かれ、予選リーグを3試合戦い、各リーグの1位とワイルドカードの2チームが決勝トーナメントに進みます。残念ながら予選敗退のチームも交流トーナメントに参加し、3日間で全チームが6試合行えるというレギュレーションでした。札幌代表の6チームはハイレベルなサッカーで熱戦を繰り広げ、5チームが決勝トーナメントに進み、上記3チームが準決勝へと進みました。

2日目はあいにくの大雨で、人工芝グラウンドに水が浮く状態でしたが、運営スタッフの懸命の努力により、大会は最後まで予定通りに進みました。

最終日、秋風が心地よい快晴の空の下で行われた決勝戦をレポートします。

きずな

9月16日(月) 12:00 KICK OFF in SSAP

KEクラブフィールズ U-12	北海道コンサドーレ札幌 U-12	
1	0-2 1-2	4

コンサドーレ室蘭に1対0で勝ったフィールズと札幌ジュニアに1対0で勝ったコンサドーレ札幌の対戦は清々しい風が吹く秋晴れのSSAPグラウンドで行われました。既に試合を終えた全道の各チームや両チームのサポーターが集まるグラウンド、アナウンサーによる選手紹介で試合がスタートしました。



前半から主導権を握ったのはコンサドーレ。前半5分、コーナーキックをクリアされたボールを④が拾い、右サイドから中央の③へパス。キーパーもかわした③がゴールへと蹴り込みました。さらに11分にはセンターバック⑩のテクニックから右サイドを走った⑧へ華麗なアウトサイドキックのパス。それを⑧が落ち着いてゴール左隅に流し込み、2対0で前半を折り返しました。

後半は交代で入ったコンサドーレ選手が活躍しました。19分、左サイドを④から中央③へと渡りシュート、そのこぼれたボールを後半から入った右サイド⑤が確実にゴールを決めました。

26分には中央で相手を3人引きつけた④が、これも後半から入った右サイドバックの②へ丁寧なパス。これを一人交わして左足に持ち替えた②が見事

なミドルシュートで4点目を挙げました。



ここまで⑩、⑦、⑨、⑪の見事な連携を見せながらなかなかビッグチャンスを生み出せなかったフィールズは28分。キーパーからのロングフィードを見事にコントロールして⑩がゴール左すみにシュート。これが決まって1点を返すがここでタイムアップ。運動量が豊富で見事な連携を見せるフィールズの前線をキャプテンシー溢れるセンターバック⑫を中心に防ぎきったコンサドーレ。素晴らしい決勝戦の戦いでした。

